

『令和7年度 議会報告会のとりまとめ』
西部地区



令和8年2月開催

鹿 島 市 議 会

令和7年度 議会報告会質問等とりまとめ

令和8年2月12日 18:30

～20:20 のごみふれあい楽習館

出席議員

松田議員・笠継議員・角田議員・勝屋議員・杉原議員・中村議員・宮崎議員・徳村議長

【一部：肥前鹿島駅周辺整備事業について説明】

〔説明者〕 笠継 健吾 総務建設環境委員長

発言者（市民）	質問・意見・要望等の詳細
答弁の議員名	議員の答弁内容
参加者	駅舎とか、将来のメンテは鹿島市が見るんですか？ メンテにかかります。その辺をどうするのかというのは知っておいたほうがいいのかな。清掃するんですね。
議員	いいえ。そこはですね、今のところは市は駅舎とロータリーと話は聞いてます。
参加者	新しい駅舎について説明がありましたが、日頃電車に乗ってくださって言われるわけです。議員の方は乗っておられますか？ 明日でいいですから鹿島駅見てください。今度新しくされる分が新しくなることは当たり前のことです。ホームに上がって中川東の方を見れば、桜の木は、かずらがいっぱいです。全体で管理をせんとですよ。鹿島は市の花は桜ですって言ってますが、本当にみすぼらしい限りです。表だけ、どれだけ玄関だけしても、ホームで電車の来るとば待っていても、誰でも、いろいろ見ると思うんです。県と市が連携して地域と全体で完了してください。
議員	分かりました。早速明日行ってみます。やはりそういったことはですね、地域全体で。ありがとうございます。
参加者	先ほど話の続きみたいなものですが、駅を利用しているというのはこの議員の皆さん、月に何回くらい利用している？JRを
議員	それぞれですから。

<p>参加者</p>	<p>乗ってない人が大半よね。乗ってないね。あそこのロータリーは新しくだぶるような形でつくると言っているけども、あのバスを利用する人がどう？いるの？いないんじゃない。</p> <p>そういう現状でね、夢みたいな計画を立てとるよね、利用せんのに、バスのロータリーを作るとか、駅舎もこの待合室を利用する人がどれだけ思うか新しく古いそれがね、有形無形文化財とかいろいろあるじゃない、それほどの価値があるならともかくさ、ないのになあれだけ広い待合室、そんな広い待合室がいるかということだよ。</p> <p>駅舎は2階建てかな、新しい駅舎は。2階建てね。当初、市の都市建設課と話したときには、あれ少し高めるから、今の駅舎と比べて、レール線路上、あれより高く作って、それでもできるかわからんけども有明海見えるぐらいの高さにして、ロビーラウンジの役割も駅に持たせると県の説明ではあったんだけどねそれにしても現在約2万6千人だよ。人口は。まだ減っていくよね、多分。かささぎも減ったよね。そういう状況でさ、今のような説明があっても、誰が利用するんだろう。あれで見たら、絵に描いた餅、そうはっきり言うんだけども、人がいっぱいおったね。そういうふうに人が実際に集まるんだろうかと考えたことある？議員の皆さんは。</p>
<p>議員</p>	<p>そういった人がですね、思いはあります。やはり若い人たちが高校生とか、そういったときに、ただ、おっしゃるように、人口が減っていけば、電車に乗る機会というのは、そういった中でですねやはり普通電車を多くして、江北で乗り継ぐということが出来ますので、やはり鹿島市民としてはですね、やはりよその市に行って。ですからそういったところにきちんとした駅ができれば。</p>
<p>参加者</p>	<p>人がやってくるの、集まる？集まるわけないやない。少子化で子供がどんどん減って鹿島高校も定員はどんどん減りよるよね。おまけに定員割れしとる。現実を見らんで、言うとしてもね、さっきあった鹿島駅の構想、東京かなんかのコンサルタントがかいたんだね、彼らが描いた夢なんです。</p> <p>地元のことは実際知らんで。全国的にね、ああいうお金のコンサルタントが来て地方の公共団体に、鹿島市も含めてね、いっぱい夢を追ってるわけ。コンサルタントが。できもせんことばかり夢ばかりね。彼らはこれが仕事だから。</p> <p>言ってることは。鹿島市の要望需要に合うとらんとば作って、5年10年20年ずっと続くよ。建物からなんから施設というのは。大丈夫かということをもまず考えないかんだろう。今以上に人が減っていくんよ。</p> <p>県の予算だからね、あんたら考えが甘いのか知りません。県が言うようにならんよと。一番その地元に住んでる人間が言わんにゃいけん。</p> <p>公聴会でね、公聴会で私だけ一人だけ5回の公聴会で意見した。議員で聞きに来たのはあの宮崎議員だけよ。そのぐらいね関心もない。</p>
<p>議員</p>	<p>この今おっしゃった要望とか意見については私達議会でも十分に検討させていただきたいと思います。</p>

参加者	私いいですか。鹿島駅の話なんですけど、やっぱりスローツーリズムの玄関口とかいうとですね、やっぱりいろんな各地区の祐徳稲荷にしる、浜にしる、そういうふうなやっぱコンテンツがないといかんのかなというふうに思うんですよね。そう玄関口としてするんだったらそういうふうな取り組みというのをですね、市の方にどういうふうに訴えていただけるのかとかですね、そういうところをちょっと聞きたいんですけど
議員	あのですね、ウォークブル推進計画ということで、歩きながらずっと街を歩いて行っただけですよ、楽しみながらというのがスローツーリズムだそうですね。それでそのウォークブル推進事業は34ヘクタールあるとです。34町ですよ。東町から大手からですねただ一つの広場というだけです。だからものすごく大きく計画にはなりますけれども、今から本当に広場だけじゃなくて、いろんな施設に建てていったりしていくわけですよ。だから、本当は広場だけじゃなかとですよ。ウォークブル推進事業という一つの本当にもう道路が都市計画で決定されとつですよ。たまたま今日は駅だけ質問されましたけど、ただご紹介をただけですいろいろな質問されましたけど。私達も県の方にはいろいろ質問しています。だから、我々も頑張ってるんですよ。実現できるように頑張らばいかんですね。
議員	今鹿島市とですね、太良町と県とで駅前にカタラボというのが今あります。それで、県としてはスローツーリズムの拠点ということで佐賀県の南西地区、鹿島市太良町とか嬉野辺り含めてですね、その辺の観光の拠点として、鹿島駅を活用していくという方針ですね。大きく言えばですね。ですから鹿島だけのことじゃなくて、県の南西部のことだと思って捉えていただければと思います。
参加者	すいません。今スローツーリズムと言われてますけど、広場ですね。広場を作って、何に活用するのか、今こういう冬今年も雪が降ってましたけれども、夏なんか暑いのにあの広さのなかに何を遊ぶのかっていうその対策なんかどういうふうにされているのかなと疑問、あの広さの今駐輪場になっておりますけれども相当な広さがありますので、その活用方法についてどういうふう質問されて、どう活用をするのか、市の方が検討したのかというのを聞いたかった。それともう一つは復元駅舎のところに観光協会か何か入るのかもわかりませんがあの広さの活用もただそういう連絡するだけの活用となるのかそのへんを確認したいと思います。
議員	今日ご説明したのは、イメージ図はあくまでまだ市の方がこういった想定ということで植栽がなされるようになっておりますけれども、今後広場については、令和11年度の完成を目途に、今後実施設計になります。その中で、ああいうふうな植栽するのか。ただ、市議会の中ではいろいろな意見があり、例えば私としては、ああいう植栽については、今後は作った後の維持管理が、多額、入ってきますんで、そうではなく佐賀駅の駅前広場みたいなブロックのような形でキッチンカーが入りやすい形がいいんじゃないかという意見も私は出しています。ですので、どういう形で利用されるかどうかは、植栽するのか、佐賀駅みたいにするのかで変わってくると思うんですけど鹿島市としてはあそこにキッチンカーを出したりとかしたイベントの広場として集客を目的に利用するということは聞いております。ただし、実際どういう中身かは今後実施設計によって決まってくるので、そこはきちっと市議会の方でチェックして審議していきたいと思います。復元駅舎につきましては、あそこは交通情報も提供する場ということと、それから休憩施設ということで聞いてます

	交通情報というのは今度の電車が何時に行きますよ。どこまできてますよ、あるいはバス、公共バスに対する情報提供するような場ということで聞いておりますが、新駅舎が先に先行しますんで、今後復元駅舎についての内容が明確になってくるかということで、思っております。
参加者	いまいちですね、駅の広場とかロータリーとか復元駅舎とか、駅自体のイメージが全く湧かないんです。ホームは何メートルあるんですか。そこに屋根は残すんですか。
議員	ホームは今と変わらない。ホームはそのまま。話は聞いていない。
議員	ホームはですね、今の駅舎に近いところから改札口に
参加者	大体一体化するんでしょう。新しいイメージが欲しいんじゃないですかね。ではその新駅、広場ですね、新しい名前がつくんでしょうけどそれは閉店時間というか、何時まで。結局駅で集う集まるとしてですね、もう少し長く、まだ具体的なあれはないわけですよね。
議員	具体的には示されていない。
参加者	そちらの方が鹿島市のやることでしょうから、そちらの方に、いつまでにするんだと、いつまでやるよとということをしてですね、考えたほうが良いと思いますね。
議員	そのところはですね、我々もまだ聞いていないので、そういったところが変わっていく可能性もありますが、そこら辺を把握した上でしていきたいと思います。
議員	具体的な部分については今後ですね、私達も質問をしていながら、検討していきたいと思っております。いろんな業者の方も入られると思いますのでそこでどういうふうな計画をされているとか、その辺の具体的なことは、今後しっかりと私の方も聞いていきたいと思っております。
参加者	県が主導して作っているということはわかりました。ただみんなが心配しているのがですね、費用対効果であるとか、利用率であるとか、そういったことを心配してるわけですね。それからその後、鹿島市が維持費を負担する。全ては県はしてくれんと思っておりますので、駅舎とか管轄する以外の部分は、鹿島市が多分維持管理運営していくんだと思っておりますが、そこら辺の費用の見積もりなんていうのはまだ考えられてないですね。
議員	現在の駅舎は、県の施設で、県が維持管理をしていく、それから復元駅舎もですね、県が作って県が維持管理をして、その運用については鹿島市の観光協会にですね、入居していただいてそこに運用してもらおうという形になりますけれども、新駅舎と復元駅舎は県の施設で県が責任をもってですね、準備計画を進めていただいておりますし、ロータリーは国道県道の部分でですね、これも県で新駅舎に28億9000万でですね、それから復元駅舎に4億1000万、それからロータリー、合計の45億円、これはあくまで県の主催事業とし

	<p>て。</p> <p>市はですね、駅前広場と、いわゆる駐車場とですね、広場に 8 億 2000 万これは鹿島市で運営して後の方、維持管理でも鹿島市がやっていくということになっております。ただ合計の 53 億円ほどかかりますけれども、その公共ロータリーはですね、市の国県道で市の分の負担がですね、15%ほど県の工事であっても、費用負担する 1 億 8000 万っていうのはしますんで、鹿島市が約 10 億ぐらいの総事業費になりますけれども、それはですね、国の補助事業を利用してやりますので約半額程度の 5 億円は国の補助事業から、実質負担は鹿島市が 5 億、という形ですね。主に駅前広場の方を責任持って、維持管理、駅前について、現在の利用者にするとはずかな利用者です。高校生を主体にして、一般の列車を利用は非常に少ないわけですがけれども、に鹿島からについてはですね素晴らしい観光資源をですね、売っております、スローツーリズムの拠点施設として、いわゆる市外から、あるいは県外からですね、お客さんを鹿島に呼び込んでですね、交流人口を増やして鹿島の町をですね、元気つけようということですので今の利用者だけではとんでもないですから、県は費用対効果というよりもですね、費用対効果から行くと算定できないという、むしろ長崎本線ですね利便性低下ですね、鹿島が非常に困っておられる、元気づけるために、県が責任持ってですね、このスローツーリズムのですね、まち作りをですね、推進していくということで、県からカタラボに職員を派遣して鹿島市と太良町を結びつける 4 名でですね。このツーリズムをですね。しかけをどんどんやっておりますでですね。我々それを期待して鹿島が元気になればですね。やるのは市民の我々が、県から作ってもらっても、我々自身がですね、やっておりますので、よろしくお願いします。</p>
<p>議員</p>	<p>私の方から説明をさせていただきます。先ほどから県が鹿島駅を整備するというところであるんですけども、わかりやすく言うとはですね、元々鹿島駅の駅舎については、当然 JR が所有者でありました。ただ 3 年前の上下分離によって、鉄道施設、鉄道、あるいは駅舎については、佐賀県の方で所有して運営するということになってます。ですので、おのずと駅舎については県の所有ですので県の方で整備する、ロータリーについては、今の現状のロータリーは県道にあたります。だから、県の方で整備する。で、それ以外の市営駐車場、駐輪場で新たに設ける広場について鹿島市でやりましょうということだから、佐賀県がやりますとなっているんですけども、ただそうは言っても、駅は鹿島市民にとって有意義である施設でなきゃおかしいんで、当然市はそこはしっかり、県と連携していかなきゃいけないと思っておりますので、今後整備するにあたってはおおむねの計画は決まっておりますけれども、詳細については当然総額 53 億円という高額な大型事業になってますんで、なるべくそこはコストカットして特に鹿島市の 10 億円の負担については、コストを削減した形で皆さんにとって、あるいは鹿島市に訪問される方にとって有意義な駅舎周辺を整備することが私達としては当然思っているところですので、ご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>ただ、先ほどからいろいろご意見、それは市議会の中でも考え方が違うかと思っております。推進する派と、私は慎重にやる派と思っておりますので、市と今後ですね、きちっと審議を進めていきたいと思っております。</p>

参加者

県の説明会ですかね、駅舎についての、そういう場がありました。今月の先週土曜日でしたかね。駅前に集まって、現場の駅の要するにどこまでどういうふうに工事をして、どうするかという詳しい説明がありまして、前の広場についても、どういうふうに利用していくか。それから先ほどのスローツーリズム、駅宿の 浜、飯田、七浦駅、大浦までのそのラインでスローツーリズムをやるんですよと。それで市の玄関口 そういう旅行者がですね、手続きをして駅にずっと来る。そういうふうな話まで出てきました。

それはどこの話どこでどういう場でそういう話があるかっていうと、そこにはですね、県の担当がおられました。それから鹿島市の都市計画課の方もおいででした。そして駅舎の歴史とか写真とか、いろんなことを示して話がありました。それはピオの3階のかたらいの大会議室でありました。その案内はチラシでこちらもらったんですね。それで、もうここで言いたいことは、鹿島市とその佐賀県という両方ですが、そういうその情報の提供とかこういうことをしますよ、こういう話し合いをしますよということが、それは県の話なんです。

まずその辺はもう少しきちんとですね、市民に集まってもらって市民の声を聞きたいということでこの前行ったんですね。それで30人が集まりましたね。それで駅前に集まってずっと今そこまでできて、来年の夏ぐらいまでに完成すると、だから今年の夏ぐらいから工事に入ると。それで完成は令和11年度、と。

ただですね、そこでの話は、要するにそういう計画であと3年かかるけども、その3年間の間に、鹿島市民として何をするのか。要するに観光ということ、なら完成しましたよ、そっからじゃなくて、もう今ここで要するにいろんなですね皆さんの意見を出して今のようないろんな批判的な意見もいいと思うんですよ。出してとにかくその3年間でよりよくスタートできるようなそういうですね。皆さんの気持ちをそこへ持っていくと、いうことが大切じゃないかという話もありました。

先ほどですねすごい元々のその公益のあり方とかいろんなもののお話ありましたが当然そういう問題ありますけど既にそういうもう進んでいるという状態で私は一昨年末に帰ってきたんですけども毎回こういうのに出てるんですね。それは東京の方のコンサルが基本的に中心にやっています。それでコンサルの方は駅前の広場で、これ毎週とか月に1回とか、人を集める要するに企画してるんですね、僕は大体毎回行ってるんですけども、誰も来ない。そうすると、それとですねこの前市役所で駅前の区画整備ということについて要するに市街地と要するになんですか、住宅地の区画をその決めなくちゃいけないってことで皆さん集まってくださいということで鹿島市の案内がありました。僕は行ったんですよ。私だけでした。説明でおいでになっている市役所の方は5、6人おられましたけれども、私あわてて駆け込んだんですが誰もいなかった。私は話を聞いて、1人ですから、質問をせざるを得なかったんですね。それで質問しましたけど、ちょっとその辺がね実際動いてるという部分、あるいは今からでもどうにかならんかと思う止めないかんかといういろんな意見があると思うんですが、そこはどっちかっていうと、そういうところに出かけて行って一体どういうふうになっていくんだろう。あるいは少しでも何か自分が担えることはないかと、いうことで出てきましたけど、

要するにこういう話をさせていただいてるのは、市と県がもう少しそのこういう話し合いをします、ここまでの話をしますということ、連携をされてですね、もう少しみんなに広まるような形で宣伝じゃないですけども情報提供されて、集まってくるということで

	<p>やはりもう根本的な提案もあると思うんですね。やっぱりその辺をですね、情報の共有と いうか県と市でももう少し次に向けてまた 1 回それを開催するなら開催を両方で一緒にやっ ていく。私が出たのは結局この春いろいろやる説明する対応だから、もうこの今の話より もちょっと進んでいるんです。話が。ですからこういうことあるのになど。旧駅舎も、も う別の情報あります。旧駅舎はもっと鹿島寄りに行くんですね。動くんですね。それでス カイロードから見れるようにします。でスカイロードにあそこに繋げる、そんな話が出て きてるんですね。私言いたいのはもう少し協力して、きちっと情報提供される場が設けら れ、話の内容もある程度すり合わせをされて、どこまでをやっていきたいというふうにし ていただければ、混乱も少しはなくなると思うんですね。</p>
--	--

【二部：意見交換会】

能古見 参加者	<p>先ほどからの駅の説明を丁寧な説明ありがとうございました。駅に関する関連の予 算については自分自身も把握しているつもりです。いろんな批判があるのは承知の上 ですけど私達の子供たち、私の子どもも鹿島高校に在学をしております。その子たちの 未来、子供たちとその家族が住むまちの駅の姿っていうところを想像していただけれ ば、今のみすばらしいホーム先ほどもありました駅がもう田んぼの周りに藪があると いう。というようなホームではいけないというのは皆さんおわかりになる事実だと思 います。ただその中での市の予算、予算はどうかという意見が大半だと思いますが市の予 算 165 億これを農業だったり、他の産業だったり配分してという中でなかなか使い勝 手がっていうところはあると思います。その中でも大切なのは、駅イコール高校生の利 用、朝夕の利用何よりも地元の高校鹿島高校で鹿島高校も先ほどもありました本当 定員割れしていて人気がないというのは事実です。ただ、地元の高校ですので、議員さ んたちももっと高校生の意見を聞いていただいて、鹿島高校との高校生との連携をし ていただきたいなというところがあります。皆さんインスタをされてると思いますけ ど、出席されている市民の皆さんも半数ぐらいはインスタをされてると思いますけど 高校生が鹿島市頑張ってます。例えば鹿島市高校生広報課というインスタがあります。 鹿島の街を良くしよう、よりよい住みよい自分たちのまちにしていこうという活動を 子供たちがやっています。子供たちのためというのを一番に考えていただけたらと思 います。切実な思い、よろしく願いいたします。</p>
参加者	<p>では子供たちの話が出たので、近年夏ですね、猛暑が続いているため各小中学校の PTA より子供たちのために、体育館の方に、空調設備を導入してほしいという要望が上がっ ております。現在ですね市 PTA が中心となって、市へ要望書提出のために署名活動を そ こで議会の方でも体育館空調設備にするために、動いていただきたいと思っておりますが かがでしょうか。</p>
議員	<p>先ほど質問いただきました空調設備については、議会のほうでも質問があっており ます。1月にですね議会に向けて今後の市の基本方針ということで説明がありました。 来年度令和 8 年度に西部中東部中ですね、体育館の状況を確認をして、どのような形</p>

	<p>で空調施設が取り付けができるかということで、まず検討を始めていただきます。正式決定ではありませんが、最短で令和 9 年度に空調を設備が整う方向で今検討が進んでいるということになります。ですから今から 2 年後ですね、2 年後のできれば夏前に猛暑になる前に取り付けを完了して、小学校中学校の子供たちが部活動を含めてですね、体育館で活動ができるような状況作りに今市の方も取り組んでもらっております。この件については先ほどお話がありましたように各小学校中学校の PTA で、要望活動があつてのは知っておりますので、この辺も議会の方で取り上げてですね、今後取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
参加者	<p>駅舎自体は県が管理してると言われたんでちょっと質問なんですけど、今度はもう電車はもう減っていくんですね、これは JR と県が話し合いをして、 してます。もう一つちょっと気になるところはですね。今武雄からですね、高架はずっと伸びていってるんですよ。新幹線のもですね、別に高架を出してます。あれがあのままずっといくとですね、ひょっとして、向こうがやっぱり便利になるので、また車両が減ると思ひます。私の友達、嬉野で降りるんですよ。そして鹿島に来るんですよ。鹿島駅で降りてくれたら迎えに近いからというけど、やっぱり向こうがいいんですね。前はですね、鹿島駅来てただけど便がずっと減っている。何も言わないのと言われてですね、いや、私が減らしたわけじゃないということ。結局管理をしてるのがどこかと、今国鉄というか JR がやってると思うんですけど県が管理して、打ち合わせして減らしたということ。でも結局、鹿島市はそれを了解したということですよ。何で了解皆さん得たのかなと思ひてですね。やっぱり人来ないです。車でしか来なければ駅舎をきれいにする必要ないです。維持管理自体、僕らですね、建築的な立場で言うんですけど、維持管理にもものすごくお金かかるんですよ。税金使わないと行けない。これはですね、将来的な問題です。今作ってもすごい綺麗なんですけど、後々もうものすごくかかります。だから最初言ったのが、作ったのが県が管理するのか、市が管理するのか。</p>
議員	<p>連携協定書のなかとですよ。そいが一番問題。連携でいいながら連携協定はなかとですよ。ずっと言いよつとばつてん、我々は信じあつてると。</p>
参加者	<p>もう書面上絶対しとかないとですよ、予算切れたらですよ、そのままですよ。</p>
議員	<p>連携協定で言うて、連携協定書はなかとですよ。</p>
参加者	<p>はい。その上で私が聞いたのは、県がするのかどうかつていうのだけ確認したい。</p>
議員	<p>先ほどは上下分離によって、元々 JR 九州から鉄道施設駅舎については佐賀県が譲渡を受けました。ただ、鉄道特急普通電車の運行については今まで通り JR 九州がやってますんでどこが決定するのかというのはもう JR 九州。鉄道の便数について。ただ、当然減らして欲しくないというところがあるんで、佐賀県、当然、鹿島市で減らして欲しくないと利便性をこれ以上の低下しないということで要望しています。その結果この春には今、特急 14 本が 10 本になるということで、もうこれはもう JR 九州の方でほぼ決定されている。特急が元々 44 本当たりところが西九州新幹線の開業とともに 14 本に減つて、今度 10 本に減るとなさらの利便性が低下します。ただ、よくよく考えても西九州新幹線の開業とともに、各駅までは特急が江北駅を 44 本以上に走ってるんですよ。だから、江北駅と鹿島駅のそ</p>

	<p>の間で何らかの連絡ができる、普通電車、あるいはバスで繋げば、江北まで行けば、特急が博多駅方面には前より出てますので、という考え方もあろうかと思しますので、そういうのを踏まえてですね、特急だけにこだわらずということも判断する。それと、先ほどの高架についてはちょっと情報も持ち合わせていませんので</p>
参加者	<p>これがちょっと伸びてきてるんですよ、何かその本数を減らす話からですね、全然別のことで言ったらですね、これが不自然と言ったらおかしいんですけども、計画的に伸ばしてるんだと思うんですけど、車両が減る分ですね。そういうふうになったもんでですね、何かあるのかなと思うんですよ。で、ちょっと聞いてみたんですよ。</p>
議員	<p>当然鹿島駅を整備するにあたって、どれだけ集客ができるかっていうのは今までのご意見も踏まえてですね、それは当然考えないかんところですので、特急に代わる何らかの公共交通手段に変えてですね、鹿島駅に多くの方がいらっしゃるような形を考えていかないかんと考えております。</p>
議員	<p>私のほうから補足いたします。今言われたその特急とかの減便の件につきましてですね、毎年、私と市長と県の部長と3名から4名ぐらいで、まずJRの方に何回かこの減便をしないでくださいということをお願いに行ってます。それとは別の枠で江北そして太良町白石町の人たちも含めてお願いに行ってるんです。</p> <p>これをJRから返ってくる言葉は、駅を利用する人がどれだけいらっしゃいますかということ聞かれます。私達も駅を利用してくださる方を増やそうと努力はしてるんですけども結局、株式会社という中でJRさんが運用してらっしゃいますので、これは民間の企業ですのでなかなか私達から、それを無理やり減らさないでくれっていうお願いを言ってるんですけど、向こうはやっぱそれはちょっと受け入れられないっていうのを一方的に減らします。ただ、一つだけ、よその地域で違うのは、普通列車を便を増やしていただいています。で、他のところは、特急をなくしたり、あるいはもう全部普通電車にしまったりっていうことになってますけど、鹿島の場合は特急は減りましたけど、普通電車は4本増やしてもらってるんですよ。で、その部分については、他の地域とは取り扱いが若干違うということで、私達が市長と議長そして県の幹部の方とお願いに行っている分につきましては、その成果は出ているんじゃないかなっていうふうには私は考えています。これからもとにかくJRの方には博多駅まで行ってお願いをずっと続けていくっていう状況はもう今からも変わらないと思います。</p>
参加者	<p>JRのですね、県との間で新幹線開通してから22年間は運営していると聞いておりますが、今の現状で44本から14本、さらには特急は10本、ずっと人口も減っていく、JRの利用者も減っていく、22年後、JRが存続していればいいですけど、廃止とかになった場合は、管理、駅舎の管理、そういうのはどうなりますか。教えてください</p>
議員	<p>さっきも言いましたように、連携協定の中ですね、全く話し合いをしとらんとですよ。どういうふうにするか。ですので、そこが、もし、うまくいかなかった場合はその維持管理はどうするかという問題ですよ。</p>
参加者	<p>はいそうですね。</p>
議員	<p>最初から何年前ですかね。市長が行って山口知事とお話をしたときに、トップ同士やっけん何で連携協定の協定の文書は通さんとですか何回言っても、信じあってるて言われるっけん、信じ合つとはよかばってん、その文書を出してくださいと、何回も言</p>

	<p>いよつとばってんですね、そいけん今おっしゃった通りですよ。こういう 20 年かかって 2000 万ずつ払うわけですよ。20 年後に人口がどうなってるのかわからんでしょ。利用しよつともわからんですよね。そいけんこそその大きい建物 43 億も 50 もかわらんごた建物を作ってますよ。そりゃよかですよ、きれいかとは。しかしその後ですよ、あそこにお店があつたりいろんなことして、泊まる施設も作ったと、そこに来なかったらどうなるのかと。ずっと県がしてくるっとか、そりゃわからんですよね。だから協定ば結んで、連携協定を作りなさいってなってるんですよ、だいたい。全然にの。それをもうずっと言っておりますが、うまくいきません。今度の 3 月議会でこういう質問しようと思って、よか機会でしたので、あなたとまたお話ば聞きたかなと思ってますけどです。質問しないとです、いかんわけですよ皆さんで。本当は。こういう大きな問題やっけんです。今、おっしゃった通り、どがんなつかがわからんですもんね 20 年先は。人口は減つとっし。利用するとはおらん。JR なくなったら駅だけ残るわけですよ。多久駅もそがんじゃないかですか。よか駅ば作って、誰も利用しよらんわけですよ。そういうふうになったら困るわけですよ。</p>
参加者	<p>財政も非常に厳しい中においてですね、人口も減り、利用者がだんだん減ってそうなればどうなるとですか。</p>
議員	<p>今給食センターの問題も出とつですもんね、これももう最初は 25 億ぐらいだったのが 30 億かかるわけです。駅に 10 億、給食センターに 30 億、もう大丈夫かなと。30 億しかなかったですよ。市の財政で、あの税金の部分はですね、あと全部交付税の方でまかかってますけど、そこら辺をですね、やっぱりきちっと市民の皆さんにわかるように説明しないといけないと思うとですよ。おっしゃる通りと思います。まず連携協定書を作って、将来そうならないようにするか。それはやっぱ検討して話し合いをしてもらわないかと思ひます。まあ市の方も見えておられますのでだいが参考になってですよ、市長の方にもご意見を言っていたらと思いますので。</p>
参加者	<p>今あのね、給食センターのことをちょっと言われたけれども、給食センターを古枝につくるといふことで、今、だけど猛反対を受けているといふふう聞いてるんですけどどうなんですかね。</p>
議員	<p>古枝地区の方では、いろんな意見が出ているというのは私も承知してます。だからそれを無視して作るっていうようなことは私はないと思ひますですからきちんと作るんであれば合意を得て作っていくだろうし、それを無視して作るっていうことは市としてははないと思ひます。</p>
参加者	<p>いや、それは当たり前とわかってるんですけどね。いつできるかわからんとか、そういう話になってるわけですよ。だから私にしたら孫、孫の親ですよ、親たちが給食センターどうなるんだろうかといふふうなね、心配をしてるわけですよ。だから、丁寧なね今、議長が言われたように丁寧な説明して、やっぱり古枝に作るよ、ということを今聞いたんでね。そういう説明を私は自分の子供にしようと思ひるんですけどそこら辺をもつと</p>

	<p>はっきりと皆さんに言っとかんと作ってくれんごとなつたとかね、そういう方向に話が行って給食センターで働いてる人は、冷房もないから夏は汗だくだくで大変なんだというように、またそんなほつたらかしになるとかい、とかね、やっぱりそういう話が出てきよっわけですよ。だからそこら辺はいろんな機会がある度にやっぱり説明をしてもらいたいなど。早急にやっぱり給食センターを作れるようにしてもらいたいなというふうに思います。本来はね、議員の皆さん言うべきことじゃないんやけど、これ市のね、方に言うべきことなんやけど、ちょっと言いました。</p>
議員	<p>給食センターもですね、今おっしゃられたようにもう本当大変ですよ。もうここに空調のついた作業着を着て、普通外でするようなとを着てからですね、女性の方は夏はもう3回ぐらい下着ば替えよんしゃつですね。で体育館のごと広かけん、スポットクーラーのそういったとでもう冷えんとですよ。そういう中で陳情を受けて、我々議員で見に行つてですね、そして市の方をお願いして、もうやつと作つていただけるようになってますけど今おっしゃつたようにちょっと進んでいないような状況ですね。私達は本当みんなですね、一生懸命市の方に声掛けをしてるわけですね。</p>
参加者	<p>少し話違うんですけど、実は地区の伝承芸能がですね、どこももうなんかなくなつていたり何か人材を探すのが非常に難しいとかですね、そういうふうなことが多いですね。で、それを地区の努力のみにされてるようなところがありまして、それだけではなかなかですね、守つていけないんですよ。それで議員さんたちに市の方で何かお金出さだけじゃなくてですね、いろんな知恵であつたり、そういうふうな伝承芸能やるグループを決めて、会議があればいいのかどうかわかりませんがね。情報交換の場を作るとか、そういうふうにいるんなことを働きかけていただければなと思うんですよ。現場は現場でやつてる方とか地区では、努力して残そうというふうにされてるんですけど、なかなか一つ二つとなくなつてるのが現状じゃないかなと思います。それをちょっとお願いしたいなと思います。</p>
議員	<p>私の方からですね。伝承芸能、私もずいぶん12年近く一声浮立をやつて太鼓を叩かせてもらつていますが、本当にもう若い方がその伝承芸能に私達も地域として入つていただくように声をかけるんですけど、なかなかやつぱり入つてきてくれないというのが現状なんです。で、どうやつたらその伝承つていう魅力を後の方後世の人たちに伝えていくかつていう、我々の仕事でもあるのかなと思います。ただ、我々だけの仕事でできる部分は頑張りますけど、できない部分はやつぱり行政をお願いしたいという部分もございます。ですから先ほど言われたように、きちんと行政の方も何か後押しができる、だから各地域から上がってきた声をしっかりと吸い上げて、そして地域に生かしていくつていうことをちょっと私も浮立をやつている人間として考えていきたいというふうに思います。</p>
能古見 参加者	<p>別のことですけど、区民のことについてですけど、はい。皆さん方も能古見の皆さんはご存知だと思いますけど444(号線)を登つて大木庭から県道武雄線に入る三源寺トンネルの南側ですね。左側に、広大な敷地がありますよね。それは元々何のために作られたか、議員の皆さんご存知ですか。水源地ですよ。元々は用地買収ばそういうふうにして、市</p>

の水道を市民のために流浪するということですね、出されたんですね。もう 30 年以上前のことですね。でもあれを何にも利用しないで今は一時は、高校のクラブとかに使用されてましたけど、今はもう建設業の廃土とか用土置き場になったようですね。私達の部落ですね、3 地区水道組合があるんですけど、もう 2 年ぐらいもうずっとですね、私が区長してから水不足で悩んでるんです。時間給水です。この前の西三河内の公民館を使って投票がありましたけど、そのときも水が出ないので水道課と選管に電話して、水がないと、持ってきて準備をしといてくれとそういうふうをお願いをしたようなことなんですよ。それで市のほうにも水道課に話をしてるんですけど、今のところ計画がないと、もう 30 年以上たってもいるんですけど、今でもないと、なぜかちゅうたら、水は余っとる足りている、人口が減るとというのはおっしゃるんですね。そういうふうな意味ですね、途中で計画が中断したわけですね。議会でも全然この 30 年間質問もなされてないし、我々にも説明はあってないんですよ。聞いたらただ水が足りてる、中にはですね、うちはいらないうちからという部落もあったようですが、大体計画では中川内の一部と本城の下の土穴ぐらいまで行く予定やったんですよ。だから水質検査もして、それで地区の方にも印鑑をもらわれたんですよ。あの、こういうふうにしてするからってということで、ぜひ市の水道に加入してくれと。それだけの印鑑をもらって、ほいでいつの間にか話は消えてしまった。馬場酒造の下にもちゃんと用地確保してあります。こっちからも水が足りないけど何とかならんかって話をするけどもね。最近ではですね、笠継議員さんもちょっと質問されていたのを見ましたけれどもね。そして全くああいう負の遺産をそのままにしておいて、地区が困ってるところであるのに、自分たちは水足りとっけん作りませんよって。ね、何のためにね土地買収したんでしょうかね。

議員

はい意見ありがとうございます。区長さんは日々昨日までそういったことを私の方にはずっと言っておられます。全体の議員がいるところですね、みんなに承知しておいてもらいたいというようなところでの発表と思います。まあ、市の上水道はですね、市の世帯が 1 万 1000 戸ぐらいありますけれども 9700 戸ぐらいが上水道。それで中木庭ダムができたときに大木庭浄水場というところで、あの土地を買って、そしてそこを造成したまま、何年もたっているということで、これはどうするのか。そのときに近くの市民の地区民の人たちには印鑑をもらって浄水場の土地として整備します、いうことでやっていて、そしてその地域が今水の井戸二つありますけど、時間制限して出していると。それで洗えるものは川でせないかん。風呂は泥水。水もそうそう飲めない、そういうような状況にあるわけですね。それで山から過ぎて けど、三河内一帯がそういった状態であります。これはもう市もちゃんとわかっております。どうするかというようなところですね、市の方としても、そのまま市民の皆さん、そういう人たちが、お金がいないというところではできないので、そこをですね、将来的には鹿島市の井戸、上水道いわゆる 9700 戸ぐらいの人たちが井戸水全部井戸です。12 の井戸からくみ上げて、そして 10 の 持ってくると。いうようなことをやっておりますが、その井戸付近の水は減ってないんだと今言われた通り、ただ減っていくのはですね、井戸の年数、どれぐらい持つかという、40 年から 50 年もつそうです。それで今使っているところの 12 ヶ所のうちですね、88 年たったところもあります。新しいので 19 年、そして 12 個あってその平均が 48 年だそうです。それでまだまだ水が減る要因っていうのは、井戸が 50 センチぐらいの 100m、200m ぐらい掘るわ

	<p>けですね。そして掘ったら、その周りにステンレス製のもので泥が入ってこないようにして穴をほがしてそこに水が入ってくるわけですね。それが長年たっていくと、その水が入りにくくにくくなっていく。そしたらそこを掃除するけど、中だけです。外はできない。だんだん水を取り込むができない。ただ水はあるけど取り込みができなくなってくるのでそれを見極めている状態。何でかと言ったら、一般質問を2回くらいしていますね。この1年ぐらいで。</p> <p>それで要は浄水場を全部鹿島市のを作れば43億ぐらいかかると。そしたら市民の負担というのは水道料の負担というのは結構上がってくると。だから、ちょっとそれは全体の全部じゃなくて、一部ずつを作ってやろうと。ただ一部を作るとしたら13億ぐらい。そしてそれを全部、全体の市民の負担に、それはもう仕方がないんじゃないだろうかっていうふうなところはあります。一部に出ないわけです。そしてそれをするためには、配管せにゃいかん、そして浄水場を作らにゃいかん、この頃新聞で分割何とかという仕方が日本全国そういったところになってきつつあるので、もっと安くする方法はあるよというふうなところもありますけど、そういったところを水道課に今言っていて区長が言われたように、そしたらどの方法でやりましょうかと。井戸を作り直しましょうか？それとも浄水場をちょっと一部13億ぐらいかけて作ってやりましょうかと、作ってやるためにはやっぱり4,5年かかりますよね。作ってそれを配管してやるわけですよ。しかし、それも将来的なものだったら仕方ないと思うんですよ。で、判断的にはですね、金がやはり全体かかるので、市民の皆さんの負担を安くし、できるだけ上がらないようにということ今考えているので、ただ将来的にはせにゃいかん。</p>
能古見 参加者	<p>そういうことですね市とも何回か市水道課と話をしてそれでいらないところは下の方、東の大木庭通を過して西に直接してもやっぱり2,3年はかかるでしょうということですね。今度の予算には間に合わないから来年度の予算でね、もうだからもっと長くなると思うんですけどもできるだけこっちとしてはやっぱり早く、もうそういう承諾の印鑑までうって地元の人土地売ってされてたわけですからですね。やっぱりそれが大きな工事費がかかるんでそこはできなくても、やっぱり代替のそういう困ってる山間部のところには代替の水道施設をつくるなりの検討ぐらいはして欲しかったなということもありますし、またですね、交渉する段階で、そこを西の方にね、水道を通すのであればその地区の全員の印鑑をまたもらわにゃいかんと、承諾をですね、そいぎもう待ちきらんで自分とこで井戸を掘っとんしゃ人もおんしゃわけですよ。市の水道の来んないばということ自分たちで特に新築した方たちが作っとんしゃですもんね。掘っておられるわけですよ。でもそういう人たちにまた我々からですよ。承諾ばしてもらわんばごとなつとっけん、そういうことまで、もう一回最初にやっとするのに、置き去りにしてまたそういう人たちに承諾を得て印鑑をもらわんば、なかなかその通せないとかですね。それで何とか助成金もお願いしますと言ってもですね、やっぱりもう決まりがあるから何%しか出せません。あるいはもうそれは助成金外ですから、やっぱりそういうふう困ってるところはですね、市の水道をつくらないのであれば、そういうところにはやっぱり何らかの助成金を出して、田舎の方も同様なやっぱり 政策というかですねその辺もやっぱりこの際ぜひお願いしたいと思えます。</p>
議員	<p>わかりました。水道課のほうにはですね。ずっと交渉しに行っています。ただ、その地域の人が何を望むか。それは将来的にもずっとそういったですね、水のことを考えなくて</p>

	<p>いいようにするのか。井戸を掘って出ないような もありますので、そこら辺もですね含みながら、地域の意向を聞いて、そしてそれに合わせるような形でやってもらいたいというふうなところは言ってますんでずっと注意しながら、大変ですけど、ちゃんと指摘していくというふうに思います。</p>
参加者	<p>別の件ですけども私 一昨年暮れに来ましたってことを話したんですけども、どうですか皆さん鹿島の空って 広くて綺麗で青くて、本当に宝だと思うんですね。ただもうこれは皆さんあまり話さないんじゃないかなと思ったんですけどオスプレーの話をちょっと皆さんにお聞きしたいと思います。皆さん方それは大きな音がして、空を見上げてオスプレーはご覧なつたことがありますよね。それは頻繁には飛んでなくて大体基本的には二機連なって飛んでいます。それで浜の方から入って、吉田嬉野の方に行くルートと、それから塩田から向こうの の手前のコースですね。それから大村、大野原、それから佐世保ですね、これはもう訓練のために仕方がないと思うんですけども、ほぼ毎日1日3回ぐらい飛んだりしてます。僕はいつも自分のうちの2階で本読んだりいろいろしてますので、大きな音がしてて、ちょっと見るんですね。そうすると目の前にもプロペラのオスプレーが飛んでるんですね。結構大きな音をですね、一応飛行ルートですね。鹿島の上を通るようになってますですね。それで皆さん方オスプレーというのはどういうふうに考えかわかりませんが今年度でオスプレーはもう製造を中止して、運用は2050年までということ。それでこのオスプレーを買った国は日本だけなんです。外国は買ってないんですね。こういうのは余計なことですね。本質的な解決はされてないって言われます。対処療法で飛ばしてるというふうなことですねということですから、これだけ1日何回もですね。この上を飛んでいくということについては、鹿島市の方のにちょっとお聞きしたりしたんですね。どういうルートになって入るとするのかそしていろいろ読んでみますと、300mは必ず高度をとらなくちゃいけないということと、市街地特に病院の上なんかは通らないというふうなそういうルールもあるようですね。しかしやっぱり上を通ってるんですね結構。私は新町なんですけども揺れるんですね。そういうことで何を言いたいかっていうと、どうなんでしょう飛行ルートの下にある鹿島ですね今まではそんな飛行機飛ぶことなかったのにどんどん飛ぶようになってきてる。そういう意味でですね、その鹿島市がオスプレーについてどういう情報をお持ちなのか。要するにこれ安全上のね、要するに問題ですから国の問題ということにもなると思いますけども、佐賀に駐屯基地ができてそこから発進するということで、ほぼ毎日飛行機が飛んでいます。飛行機の音してます。ですから、ちょっと以前とは違うなという感じを持ちまして、なるべくその情報を国民にですね、これ市民にこれ15日のですねそっちの方の情報にはルートとそれから訓練の計画が載ってるようですけども</p>
参加者	<p>要するに早い話が情報提供をねもう少ししてもらいたいということと、議会でこれについてどの程度の話がされたのか。というのを聞きたいですね。</p>
議員	<p>貴重な意見ありがとうございました。オスプレー等の飛行についてはですね議会の中で市の方からそのような説明があったわけではありませんけども、先ほどおっしゃったような意見というのは多くの方から今寄せられていますので、こちらの方についてはですね、市を通して今の状況がどうであるのかっていうのを確認させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>

参加者	<p>あのですね。申し訳ない市会議員さんの前で申し訳ないんですけど、定数について、議員定数についての質問です。平成7年に24名、平成15年で22名、平成19年に16名になっております。で、人口がですね、平成7年は3万4千ぐらい。まあ下は言いませんけど。平成15年で3万3千、平成19年16名になったとき3万2千、現在は2万6千、7年度の12月です。で、2万6861名。で、議員の方たちで、定数削減とかは話は全然なかですかね、と思ひまして。申し訳ない。</p>
議員	<p>ありがとうございます。検討させていただきます。</p>
参加者	<p>よろしいですか。事業振興についてちょっとお伺いしたい点ですけど、正月に祐徳神社にお参りしました。それで地元の祐徳バスが参道ば通らんごと上の駐車場に行くんですよ。祐徳バスが。なるだけ地元の祐徳バスがもう地元の産業振興に特に門前の活性化に役立てるごと、下の駐車場に駐車できるごたば、議会の方からできんやろうかというのが一つ。そしてもう一つは空調整備がさっき出たとですけど、今度の選挙でこの楽習館の体育館で投票立ち合いばしたとですよ。そいぎこの日、学習館の広かここでストーブの3つしかなかとですよ。それで玄関口は開けっ放しで、やっぱり選挙やっけん閉むっわけにはいかんですよ。そいけんそこらへんで楽習館の体育館に空調の設備ができるかどうか、ていうとばお願いしておきたいと思ひます。</p>
参加者	<p>議会だよりを読みました。市職員の給料のアップですね。これは当然だと思ひます。やっぱりですね、上げていかないと。それからですね。さっき給食センターの話が出ましたよね。まあ一社、一般社団法人ですか。で、エイブルとか図書館とか、給食センターとか、ここの楽習館の職員さんも、みんな同じですよ。昨年、少し上がったみたいですけど、その間、何年間ですね10年間以上上がってなくて非常に安いです。先ほど言われて給食センターが結局、ものすごく暑いとそういう中でですね、もう少し見てやらないといけな、と思ひます。皆さん、専門職です。エイブルとかですね、図書館はですね、昇給はないです。賞与もないです。ボーナスもですね。これはやっぱりですね。やる気をそぐと思ひます。給食センター非常に離職が多いと聞きます。やはりそこら辺はですね、ちゃんと見てやらないと、市職員と同等の給料にしると、そういうことではありません。ただあまりにもですね、10年間以上ほったらかしで、去年やっ少しです。でも少しでも喜んでもらえるんですよ。で、賞与をですね、例えば2万でも3万でも5万でもいいんですよ。ものすごく喜ばれますよ。ぜひですね、そういう質問をですね市議会の中で市長さん宛てにですね、ぜひ出してもらいたいです。お願いします。</p>
議員	<p>はい、ご貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘の通りですね、市の職員はですね、地域独自で給料体系をなかなかできないもんですから、国家公務員と同じベースアップでずっとベースアップしてまますけども元々市の職員がいた公民館とかエイブルとかですね図書館、そういったものは指定管理者に委託してですねやっております、ほとんど人件費がですねやっぱりそのままですね。だから、市の職員はベースアップありながら、元々市が行っていた管理は全部指定管理者にやらしてですね、そこへの人件費がですね、非常に優遇されていない。これは我々議会でもですね、議案審議の中でそういった指摘をしておりますけれどももう少しですね、これだけ物価高騰で指定管理の職員さんが苦勞されてい</p>

	<p>るところを見るとですね我々もっと強くですね、当局のほうに訴えていきたいと思っております。どうもありがとうございます。</p>
参加者	<p>先ほど上水道の話が出ましたけど、私は大殿分に住んでるんですけど、下水道が来ています。下水道が来てるけど、大殿分地区もですね、他の地区に漏れなくてですね、空き家とか1人住まいが多くなっています。それで、下水道を引っ張ってきてもですよ。果たして将来的にその設備を維持できるかという私の疑問を持っています。よその地区で道路陥没とかいろいろあってますけど維持していくためには、下水道実際使わない市民の方にも負担をしていただかないといけないような時代になるんじゃないかと危惧しておりますので、どこまで下水道伸びていくのかですね。非常に我々は喜んではいらるんですけど、下水道を作っていただくと。溝が綺麗になるし、川も綺麗になるから。しかしね、設備の維持管理これをどのようにお考えなのかですね。駅舎も一緒だったんですけど、疑問に思っているところです。</p>
議員	<p>はい。ありがとうございます。非常に大殿分でもですね、ご指摘のお住まいの地区は新たな新興住宅が増えてですねやはり下水道延長しております。しかし水道事業、あるいは下水道事業はですね、受益者負担となっておりますですねその受益者でそこをですね維持し、ご指摘のように大変だと分かりますのでですね。まあ、もうこれ以上の延長はないと思えますけれどもですね。そこらへんは我々もですね特別会計の下水道事業でしっかり収集していきたいと思えます。過剰投資にならないようにですね。それと先ほど大木庭の浄水場計画これ元々ですねもう本来であれば、浄水場の水源地できてるはずなんですけれども、今のところ地下水がですね、まだまだ十分に足ってるという状況ですね。しかし水道事業はですね、いわゆる配管がですね 更新、それに膨大な金がかかる。予定されているよりですね。昨年、水道料金の一部引き上げをしていただきましたけれどもそれでも追いつかないようなですね、膨大な更新費用が控えている。そういった中でですね、大木庭地区の浄水場をですね先の方に伸ばした。それは45位、当初30億ぐらいのものを相当ですね40億を超える状況の中でですね、本当は一番西三河内地区水不足のところ非常に困っておられるのは我々も承知して笠継議員も議会です、質問していますが、やはり受益者負担と他の簡易水道組合との兼ね合いとかありましてですね、そこら辺は、しかし大木庭地区の西側地区のですね現状は多分他の地区と違うということですね、非常に井戸を100メートル掘ってもですね、水道がなかなかないという現状がありましてですねそして浄水場計画を立てたときにですね、全戸加入していただくことを前提にですね、一戸一戸全員の承諾書ももらってですね、状況の中でですね、鹿島市の状況です、一方的に引き伸ばしておりますので、ちょっと他の地区と特別なですね、対応が必要だということで、我々もですね、やはりしっかり訴えてまいりたいと思えます。</p>

その他の当日アンケートの内容は鹿島市執行部に情報提供を行い、皆さまのご意見を伝えております。